

みずほベトナムニュース Vol.3

(2008年5月)



(写真はホーチミン市の旧正月の風景です)

〜〜 目次 〜

1. 特別企画「ハノイ市人民委員会 副人民委員長インタビュー」……………P2
2. ベトナム投資 Q&A ……………P4
3. 人事・労務「ベトナム人活性マネジメント術 ②採用編」……………P6
4. ベトナム法務「外国人労働者雇用上限比率 3%の撤廃」……………P8
5. 工業団地便り「ベトナム・シンガポール工業団地」……………P9
6. ベトナムドン為替情報 ……………P11
7. 経済データ ……………P12

編集・発行 みずほ銀行国際営業部

1. 特別企画 ハノイ市人民委員会 副人民委員長インタビュー

ホアン・マイン・ヒエン(HOANG MANH HIEN)氏

執筆:みずほ銀行国際営業部

ベトナムでは、ホーチミン市を中心とした南部への進出が盛んでしたが、近年ではベトナム政府はハノイ市への投資も奨励しております。地理的にもハノイ市は中国に近く、中国の広西チワン自治区と陸上で物流ルートもつながるなど年々、その存在感を増しています。このほど、ハノイ市人民委員会の副人民委員長であるホアン・マイン・ヒエン氏に今後のハノイ市の将来像について語っていただきました。

みずほ ハノイ市の投資環境の優位性を教えていただけますか？

ヒエン氏 ハノイ市の投資環境の優位性は、ベトナムの首都であるという点で、ベトナムの政治・経済・文化の中心だということは大きい。特にほかの地方と比較すると、交通網では、中越国境と約170kmの距離で、陸路の所要時間は約3時間。中国とのアクセスは非常に良い。また通信システムや財政・金融などのインフラ整備でももっとも進んでおり、ハノイ市は投資先として絶好の位置を占めている。人材の点からも、ベトナムは東南アジア諸国で一番高い識字率だが、その中でも特にハノイ市が全国でもっとも識字率が高い。

また、ハノイ市の人口は現在約400万人にのぼり、ホーチミン市に次ぐ規模で、購買力の点からも外国企業にとってはかなり魅力的な国内マーケットである。

みずほ 近年のFDI誘致実績と今後誘致したい業種を教えてください。

ヒエン氏 ハノイ市の2007年のFDI誘致実績は、新規プロジェクト件数ベースでは、ハノイ市はホーチミン市とビンズオン省に次いで3位(210件)だったが、投資額では20億ドルに迫り、順位はホーチミン市に次ぐ2位だった。

また、計画投資省の統計では、1988年～2008年の20年間のハノイ市の誘致プロジェクトは計987件(約124億ドル)で、全体(8,590件)の11.49%を占める。

2008年第1四半期は、72件のFDIプロジェクト(5億7,480万ドル)を誘致できた。前年同期比では、件数では同じだが、投資金額では2.6倍の増加で大型案件も増えている。2008年は通年で、45～50億ドルの実行額を目指したい。このため、ハノイ市人民委員会は2008年1月30日、外国投資家の生産工場の用地需要に対応するため、新たにいくつかの工業団地の造成計画を立てている。

現在、ハノイ市は2008年～2010年の国民総生産(GDP)成長率の12～13%の達成を目指し方策を策定している。

今後ハノイ市が誘致したい業種については以下の通り。

①精密機械設備の生産・製造、生産過程における安全検査及び管理を行う機械、及

